

## スズキ、新型船外機「DF140BG」「DF115BG」を ジャパンインターナショナルボートショー2021 へ バーチャル出品



スズキのバーチャル会場(イメージ図)



「DF140BG」 「DF115BG」

スズキ株式会社は、日本国内で3月に販売を開始した新型船外機「DF140BG」「DF115BG」を4月から開催される「ジャパンインターナショナルボートショー2021」のバーチャルボートショーへ出品する。2年ぶりの開催となる同ショーは、4月15日～18日に横浜ベイサイドマリーナ(神奈川県横浜市)での係留展示会場と、4月1日～30日にインターネット上のバーチャル会場(特設ウェブサイト)が公開される。

「DF140BG」「DF115BG」は140馬力・115馬力クラスの4ストローク船外機で電子スロットル&シフトシステムを世界初\*採用した、主にレジャー用途の中型ボートに搭載される船外機である。従来の機械式制御ケーブルから電子配線に置き換えたシステム「スズキ・プレジジョンコントロール」により、常にスムーズで確実なシフト操作、素早く正確なスロットルコントロールを実現している。

さらにスズキのバーチャル会場では、海洋プラスチックごみ問題に取り組む「スズキクリーンオーシャンプロジェクト」について紹介。世界初\*の船外機用マイクロプラスチック回収装置の開発状況をはじめ、世界中の全てのパートナーの皆様と力を合わせて進めている取り組みについて説明する。

※2021年3月現在、スズキ調べ。

### ●バーチャルボートショーでの出展内容

- ・最新の「DF140BG」「DF115BG」をはじめとする、スズキ船外機のラインアップ全34モデル
- ・海洋プラスチックごみ問題に取り組む「スズキクリーンオーシャンプロジェクト」
- ・スズキマリンの小型フィッシングボート「S17」
- ・欧州でパートナーシップを結んでいるフランス・ベネウ社製ボート「バラクーダ 9」にスズキのフラッグシップ船外機「DF350A」を搭載
- ・2021年1月にスタートしたスズキのECサイト「S-MALL(エスマール)」でボートショー限定アイテムを販売

なお、「DF350A」を搭載した「バラクーダ 9」は、スズキのバーチャル会場のほか、国内のマリーナネットワークで連携する株式会社ユニマットプレシヤスが係留展示会場で出品する実艇を見ることができる。

ジャパンインターナショナルボートショー2021ウェブサイト <https://www.marine-jbia.or.jp/boatshow2021/>